

ホーム > プレスルーム > 2024年

> 豊田ケミカルエンジニアリング、車載用リチウムイオン電池における「燃やさない電池リサイクル」処理パイロットラインの稼働開始～車載用電池の資源循環と環境負荷低減を目指す～

豊田ケミカルエンジニアリング、車載用リチウムイオン電池における「燃やさない電池リサイクル」処理パイロットラインの稼働開始～車載用電池の資源循環と環境負荷低減の両立を目指す～

豊田通商株式会社（以下：豊田通商）のグループ会社である[豊田ケミカルエンジニアリング株式会社](#)（以下：TCE）は、使用済みの車載用電池の資源技術の確立を目的に、[トヨタ自動車株式会社](#)（以下：トヨタ自動車）との共同プロジェクトとして、「燃やさない電池リサイクル」処理パイロットラインを開始しました。

1．背景

自動車の電動化に伴い車載用リチウムイオン電池（以下：LIB）が市場に普及しつつあります。日本では車載用LIBは、リサイクル困難物として廃棄物の扱いであり、リサイクル技術が未確立の状況です。一方、米国や欧州などの海外では車載用LIBのリサイクルが進展し、例えばEUでは電池材料における使用率を義務付ける規制が進んでおり、自動車メーカーの対応が必要となっています。

サーキュラーエコノミーの実現のためには、今後予想される使用済みの車載用LIBの大量廃棄に備えて、希少資源の循環を可能にするリサイクルが必要です。

2．取り組み概要

これまでTCEは、トヨタ自動車と共同でハイブリッド車のニッケル水素電池のリサイクルを進めてきました。このたび、それに加えて車載用LIBのリサイクル技術の確立を目的に、トヨタ自動車との共同プロジェクトとして開始しました。本パイロットラインは、使用済みの車載用LIBから選別されたブラックマス（電池のリサイクル原料となるレアメタルを多く含んだ粉末）の高効率な回収技術、および燃やさないCO2排出量低減に取り組んでいきます。また今後、同技術を用いることでトヨタ車に搭載される車載用LIBリサイクルをグローバルに展開していく予定です。

TCEは、産業廃棄物処理や電池のリサイクルの分野で、50年にわたる実績とノウハウを有しています。今回のパイロットライン稼働は、TCEの実績とノウハウを活用した実証プロジェクトです。今回の取り組みにより、車載用電池のさらなるリサイクル率の向上と、サーキュラーエコノミーおよびカーボンニュートラル実現への貢献を目指します。

リリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

テーマ

メール配信
サービス